

## 矢内 洋次 氏 学位審査結果の要旨

主査：岡崎 和一

副査：藺田 精昭、木梨 達雄

本研究は、2段階発癌と散発性発癌モデルマウスを用い、腸管腫瘍発生初期における複数の幹細胞由来のモノクローナル腫瘍細胞塊が発育過程で融合し、ポリクローナルになることを、正常腸管幹細胞の **Bmi1** 陽性細胞と **LgR5** 陽性細胞を標識したレインボーマウス (**Rosa26<sup>rbw/+</sup>**) による多色細胞系譜追跡法を用いて証明した。腸管腫瘍発生・増殖における癌幹細胞とクローナリティとの関連性を初めて明らかにした研究であり、学位に値する研究と思われる。